

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

公益財団法人友愛

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13 小石川文京ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-Mail:you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

編集人：羽中田元美

隔月1回 10日発行

会費(4月~3月)

個人/3,000円以上

法人/10,000円以上

公益財団法人友愛

第九回臨時理事会開催

二〇二〇年度事業計画・二〇二〇年度事業予算を協議
次年度事業方針固まる 定款に記された事業を忠実に実施

ミャンマー農業研修生受入事業は七年目に、現地友愛チームも活動
エヤップ研修生派遣事業・受入事業で次世代への継承を図る
友愛国際写真コンクール・友愛小論文コンテストに現れる友愛理解

二〇二〇年一月二十三日(木)十八時より、第九回臨時理事会が開催され、二〇二〇年度事業計画及び事業予算について協議が行われた。今年度の事業実施による実績をふまえ、各担当理事からの報告、次年度に関する意見等を基に、事業実施の内容、それに伴う予算などが提示され、協議が進んだ。

必要との意見を受け、内容を運営委員会にて検討することとなった。事業計画、事業予算については三月十四日に開催される第一〇回臨時理事会での承認を受け、次年度の事業に向けての準備が始まることとなる。

公益財団法人友愛
二〇二〇年度 事業計画案

I 公益目的事業の部

本法人は、定款に記載された目的の遂行のため、友愛の理念のもと世界平和を指し、以下の事業を実施する。

国際交流事業

(一) 定款上の根拠 第4条第1号

(二) 事業の趣旨

世界平和の礎である友愛の理念のもと、次代を担う若者に世界平和に対する意識の涵養を促す国際交流の場を提供し、国際相互理解を深める。

(三) 事業の内容
永年協力関係にあり、協

力協定を結んでいるエヤップ(オーストリア勤労青年連盟)と協力し若者の相互交流の機会を設ける。

また、平和を希求する意識の高揚は、その実現の源となる。友愛理念を理解し且つ表現できることは、世界平和実現の具体的活動につながる。

発するうえからも、表現に

対しての表彰は有意義である。

併せて、友愛理念の普及

啓発は当財団の無窮の課題であり次世代を担う若者が国際相互理解を深めるための活動は、世界平和実現に向けて必要不可欠なことである。

エヤップが推薦する若者の若者を受入、日本に於ける研修、平和理解のための広島市視察などを実施。戦争の傷跡を有する日本とオーストリアの若者で、世界平和に向けての相互の歴史と文化を学び、相互理解を深める事業。

実施内容に関しては、別に定める「エヤップ受入事業実施要項」に基づく。

啓発は当財団の無窮の課題であり次世代を担う若者が国際相互理解を深めるための活動は、世界平和実現に向けて必要不可欠なことである。

エヤップが推薦する若者の若者を受入、日本に於ける研修、平和理解のための広島市視察などを実施。戦争の傷跡を有する日本とオーストリアの若者で、世界平和に向けての相互の歴史と文化を学び、相互理解を深める事業。

実施内容に関しては、別に定める「エヤップ受入事業実施要項」に基づく。

実施内容に関しては、別に定める「エヤップ受入事業実施要項」に基づく。

する方法の技術を自国に持ち帰り、貧困の解消の一助となる知識・技術・技能研修の機会を与える。同時に国内の若者に、ミャンマーとの交流による国際相互理解を深める機会とする。

本事業の実施にあたっては、別に定める「ミャンマー農業研修生受入事業要項」に基づく。

④友愛国際写真コンクール(表彰事業)
言語を超えて訴える写真という媒体を通して、友愛・平和・環境の重要性を訴える作品を表彰し、世界平和実現の精神涵養につなげる。

友愛・平和・環境をテーマにインターネットを通じて作品を募集し、訴求力の高い作品を表彰する。

本事業の実施にあたっては、別に定める「友愛国際写真コンクール実施要項」に基づく。

⑤友愛小論文コンテスト(表彰事業)
イギリスの哲学者「フランク・ベークン」が「友愛の理念を以て、全人類の融和を」と説いたように、友愛理念のもと次世代を担う若者が世界の平和に資するため、国際相互理解を深める機会を得ることは、必要不可欠からざる事柄である。世界の融和を求めるとき、隔たりとなる要因の一つに言語があり、世界でも特殊な言語である日本語を理解できる人材の育成は、友愛理念の啓発に重要な要素といえる。

現在整備されている諸規定の他、法令遵守の見地から可及的速やかな諸規程の整備を目指す。定例の理事会、評議員会に於いて承認を求め、速やかな効力の執行を目指す。

2、事業運営体制
定例の理事会において、担当理事による報告を行い、全ての理事が現況を把握し、事業計画執行に向けて尽力すべく協議を交わす。

諸規程及び事業運営の態勢を見直し、推進し、機能を構築することに努める。

事業計画及び事業予算については理事会承認後、友愛ホームページに掲載いたします。

併せて各事業の実施要項についても、閲覧可能となりますので、ホームページ掲載の資料をご参照ください。

III 組織運営体制
1、諸規程整備

今年度実施された事業の充実と成功をふまえ、次年度もよりよくお願いしますと鳩山由紀夫理事長



今年度実施された事業の充実と成功をふまえ、次年度もよりよくお願いしますと鳩山由紀夫理事長



充実した事業実施を目指して、事業予算の組み立てには、多くの意見が寄せられ慎重に審議された

友愛時評

新型コロナウイルスの猛威が止まらない。終息の見通しが立たない中、世界中で社会経済活動が停止し「コロナ大恐慌」が懸念されている。現時点でオーバードーズ(爆発的感染者急増)が起きていない日本では「経済死」がむしろ怖れられ「自粛疲れ」や「コロナ鬱」の声と相まって「通常」への復帰が模索され始めている。▼年齢によって重症化率などのリスクが大きく異なることも、ある意味厄介である。多くの若者にとつてこのウイルスは自らの命に関わることでなく、祖父母や基礎疾患のある人々に感染を広げないために、と言われてもピンとこないかもしれない。とはいえ、武漢やイタリアの医療崩壊のケースを日々報道で目にしてはいるのだから、全く恐怖を感じないわけはないだろう。▼今や多くの国々が国境を事実上閉ざし、自国民の保護を最優先としていることは感染症対策としてやむを得ない。だが、米中間での責任問題論争に頭著に見られるように、国益を振りかざす動きも少なくない。感染症との闘いは人類共通の課題なのだから、外交ゲームを展開しても、勝敗が分かれるわけでもないだろう。各国の状況や対策は大きく異なっているが、リアルタイムで相互に参照しつつ社会経済活動が存続できるように最適な解を見つけてほしい。

▼このウイルスとの闘いは重要となるのは、社会としての「相互扶助」の精神である。ワクチンや治療法が開発され、あるいは相当数の人が感染して免疫をつけて「集団免疫」によって下火になるまで、「相互扶助」で乗り切ることを望むばかりである。(ヒゲ)



活舌良好、言語明瞭、とても九十歳とは思えない迫力。穏やかな笑顔が素晴らしい。孔徳埔先生

友愛国際写真コンクール及び友愛小説文コンテストの表彰式のため北京を訪れた友愛訪中団は、十二月十二日(木)二十世紀飯店において、孔子から数えて第七十七代目の子孫にあたる孔徳埔先生とお会いする機会を得た。九十三歳とは思えぬ元氣な孔先生から、直接「論語」についてのお話を伺うという僥倖もあった。一行は、限定の復刻版「論語」の書をいただき、食事と共に、貴重な体験をさせていただいた。「秋には孔子の故郷で毎年開かれる「孔子祭」に行きましよう」と鳩山理事長と、話が弾んだ。

この素晴らしい機会を得る事が出来たのは、現在日本で東京大学に留学中の孔祥明さんの仲立ちによる。孔祥明さん自身も、孔子から数えて第七十五代の子孫にあたり、孔徳埔先生とは懇意の間柄。鳩山由紀夫理事長の通訳を務めたこともある関係から、今回の面談を設定してくださった。

この日のために、孔徳埔先生は、香港から出向いてくださったとお聞きして、鳩山由紀夫理事長始め、一

堂大変恐縮した。と同時に、孔先生の活動力、お元氣さに、更に驚いた。毎年秋には孔子の故郷で、孔子廟のある山東省曲阜において、孔子を讃える盛大な祭が開催され、孔家の方々が参集するとのこと。孔子を学び、この祭に興味津々の鳩山理事長は、「是非、この祭にいらしてください」との孔徳埔先生のお誘いに、「積極的に考えてみます」と回答。訪問記を楽しみにしたい。

鳩山由紀夫理事長率いる友愛訪中団 孔子第七十七代子孫孔徳埔先生と面談 限定復刻版「論語」を贈られる 九十三歳矍鑠たる孔子家当主

人は自分と同じだ、または、他人が自分と同じであってほしいと願う傾向がある。個人間の人間関係の場合、このような思いが常に人間関係を悪化させる。例えば、いつも理解してくる友が、ある点について自分をわかってくれなかつたら、怒りを抑えきれず相手に不信感や嫌悪感を覚えてしまうかもしれない。一方、それが国家の場合、このような思いが歴史的な悲劇をもたらしかねないのだ。一旦相手国の行動を納得できなかつたら、も

はや交渉する余地さえなくなり、武力だけに訴えてしまう事件は歴史上たくさんあったのである。例の一つとして、第二次世界大戦の中にユダヤ人に対する残忍な虐殺が挙げられる。

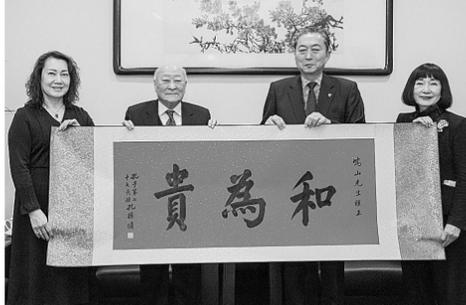
このような悪循環から脱出するためには、鳩山先生が説かれた「友愛」の精神が鍵になるのではないかと考える。自身と他人の間に大きな違いがあると認識した上で、自身を尊重しつつ、他人の違う点を認め、敬意を払うこと。

もし一人ひとりがこのよ

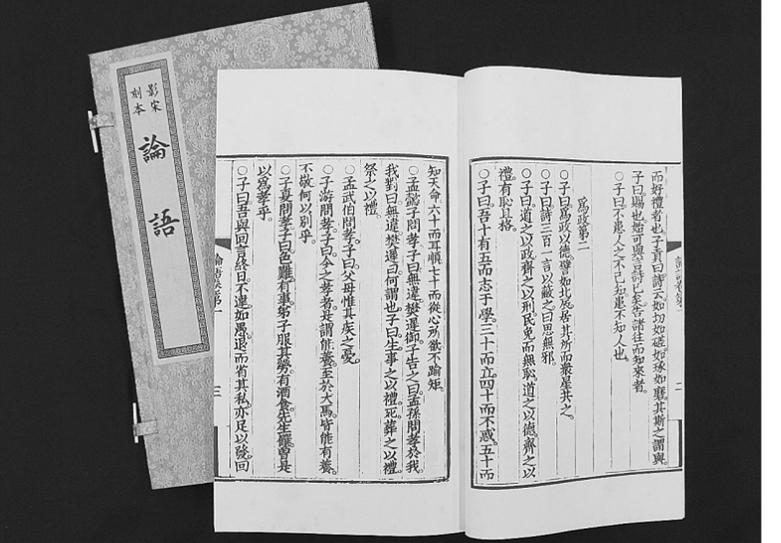
うな友愛の精神を実践できたら、世界はどれほど平和になるだろう。

会場からの帰りに、もう一度オウバイの木に近づいて花々をじっと見つめると、蕾の花、咲き始めの花、満開の花、同じ木に生えながら、それぞれの花は誇らしげにそれぞれの違った姿を人たちに見せていた。

他の花と競い合うことなく、一生懸命にそれぞれが最善を尽くしていた。「友愛」とはまさにこれらの花の姿、そのものではないだろうか。



揮毫の文字にも力強さが現れている。「和為貴」。鳩山一郎先生、鳩山威一郎先生も好まれた成句



「子曰吾十有五にして学に志し三十にして立ち、四十にして惑わず…」の有名な章句が掲載されているページ(為政第二)写真右 そのページを開き、鳩山理事長を笑顔で語る孔徳埔先生。写真左 本の文字は全て赤い色で記されている *この限定本は、友愛事務局に保管してあります。閲覧をご希望の方は、事務局までご連絡ください。お申しいただいた方から順に、日時を決めてご案内させていただきます



慶應義塾大学大学院一年

日本人はどんな印象ですか?と口火を切った成田葵さん 司会役も見事にこなして

国際意見交換会「友愛サロン」北京にて開催

日本の印象、これからの若者の課題など、積極的な意見交換が続く

去る十二月十二日北京の二十世紀飯店において、第二回友愛サロンが開催された。

これは、日本の学生と中国の学生、そして中国に留学中の学生を交え、学生がテーマを設定し、互いの国の事情などを発表しながら意見交換するもので、今回は十六名(日本、中国、韓国)の学生が集い、活発な意見交換を行った。

日本から友愛訪中団として参加した三人の学生は、事前に相談し、「日本、または日本人についての印象は?」という設問を機に、お互いがどのようにすれば



東京学芸大学大学院二年

音楽を専攻して、今は国語の先生を目指しています。伝える事は大切ですよと語る 上堂園遼さん

理解しあえるのか、またこれらの自分たちの世代ができる真の国際交流とは何かを話しあった。

「固くて真面目で取っつきにくい」という日本人の印象に、日本の学生三人は顔を見合わせて苦笑いする場面も。討論会終了後は、中国伝統のお茶をいただき、すっかり打ち解けた様子で、若者同志互いにスマートフォンをかざしてメールアドレスの交換。便利な機器に後押しされて国際感覚もスピードも、確実に発展している。多くの若者が、友愛の旗の下に集う日が、必ず訪れると確信した。



第二回友愛沙龙

鳩山由紀夫理事長は挨拶のあと、正面の席を学生に譲り、全てを若者で運営するよう促した



参加者全員で記念撮影。伝統的茶道、珍しい文字を披露してくださった方々も一緒。文化の交差点

内閣府 青年国際交流事業 日本代表青年募集のお知らせ

参加を希望される方は、内閣府のHP(ポスター右下のQRコード)にアクセスし、内容を確認してご応募ください



新しい「道」を
私がデザインするために
～次世代リーダー育成プロジェクト～

2020年度 内閣府青年国際交流事業

日本代表青年募集

- 東南アジア 青年の船
- 世界 青年の船
- 国際社会 青年育成
- 日中青年 親善交流
- 日韓青年 親善交流
- 地域コア リーダー プログラム

学生・社会人・教職員からの応募大歓迎

各事業の詳細については、内閣府青年国際交流担当室のホームページをご覧ください。
(2019年度の事業概要や応募要領が掲載されています。2020年度の応募要領は2020年1月下旬に掲載予定です)

内閣府 青年国際交流

募集期間 2020年2月～3月下旬

青 緑 業	「東南アジア青年の船」事業	「世界青年の船」事業	国際社会青年育成事業	日本・中国青年親善交流事業	日本・韓国青年親善交流事業	地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」
青 緑 業	ASEAN全10か国 うち以下4か国を訪問 マレーシア フィリピン インドネシア ベトナム	カナダ、コスタリカ、 インド、オマーン、 クエート、ポーランド、 ロシア、南アフリカ、 トンガ、スリランカ うちインド、スリランカ を訪問	I 欧州・アフリカ ・チエコ ・エストニア II 北米・中南米 ・メキシコ ・ドミニカ共和国 ※訪問はI～IIのうち 1地域(2か国)	中国	韓国	I 高齢者分野 オランダ II 障害者分野 ニュージーランド III 青少年分野 スウェーデン ※訪問はI～IIIのうち 1か国
事前	8月3日～7日	9月18日～23日	6月30日～7月4日	8月24日～28日	8月24日～28日	7月17日～19日
出発前/出航前	10月25日～28日	2021年1月23日～24日	9月7日～8日	11月15日～16日	11月2日～3日	11月25日～26日
研修 本 体 日 程	日本国内活動 10月29日～11月5日 (8日間) 船内・訪問国活動 11月6日～12月17日 (42日間)	陸上研修 2021年1月25日～30日 (6日間) 船上研修 2021年1月31日～3月5日 (34日間)	9月9日～26日 (18日間)	11月17日～28日 (12日間)	11月4日～18日 (15日間)	11月27日～12月6日 (10日間)
帰国後	12月18日～19日	2021年3月5日～6日	9月27日～10月2日	11月29日～30日	11月19日～20日	12月7日～8日 2021年2月13日～16日
募集人員	39人	120人	各地域18人 (合計36人)	25人	25人	各国9人 (合計24人)
国籍	日本国籍を有すること					
年齢 (2020年4月 1日時点)	18歳～30歳 (1989年4月2日～2002年4月1日生まれ)					23歳～40歳 (1979年4月2日～ 1997年4月1日生まれ)
語学力・ 経験	交流活動を行うに必要の英語力があること			訪問国の公用語による簡単な日常会話 能力があれば望ましい(語学力がなく ても選考で不利になることはない)		
その他	・地域、職域、学校又は青少年団体等において、帰国後も事業参加の経験を活かして社会貢献活動を行うことが期待できる人*1 ・各種研修を含む、事業の全日程に参加できる人 ・過去に内閣府の行う青年国際交流事業に参加したことのある人は応募できません(地域コアリーダープログラムを除く)					
参加費*2	30万円程度	30万円程度*3	22万円～23万円程度 (訪問地域により異なる)	11万円程度	9万円程度	15万円～17万円程度 (訪問地域により異なる)
応募窓口	住民票が所在する都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体					
募集期間	おおむね2月～3月中、応募先の都道府県・団体によって異なります(⇒内閣府HP及び各都道府県HPを参照)					
提出書類	①参加申込書 ②作文 ③健康診断書(地域コアリーダープログラムに限り④所属元の推薦書) 《⇒様式は内閣府HPからダウンロード》					
選考試験日	【第1次選考】3月～4月で応募先の都道府県・団体が定める日 《⇒内閣府HP及び各都道府県HPを参照》 【第2次選考】5月～6月で内閣府が定める日 《⇒内閣府HPを参照》 ※全事業で内閣府(東京)及び大阪で実施予定					



支援物資と共に贈られたポスター(写真上)
「中国加油」(頑張れ中国)の文字を入れ、この支援活動を伝えるポスターも作成した(写真右)

中国加油

日中一带一路友愛チャリティー活動

発起人: 鳩山由紀夫 (日本前首相)

友愛

協力組織
(財)東アジア共同体研究所
公益財団法人友愛
(社)日中一带一路促進協会

友愛募捐
扫码加入

先日日本から、中国に届けられた物資に、この「中国加油」(頑張れ中国)の文字を入れ、この支援活動を伝えるポスターも作成した(写真右)

左のQRコードを読み込むと、鳩山由紀夫理事長のビデオメッセージを視聴することが出来ます。スマートフォン用友愛HPにアクセスします

◆正月気分もさめやらぬ頃、中国武漢の新型コロナウイルスのニュースが飛び込んできました。十数年前、上海から武漢へ、そして宜昌の小さな空港へ。そこから車で数時間走り、シキ県の植林現場にたどり着き、長江(揚子江)を遡り急斜面にミカンの木を植えました。シキ県の事業は六回も続き、三峡ダムの出来上がって行く様子も、毎年迫力を感じながら眺めていました。そんな場所が大変だとのニュースは、心を痛めました。それは故郷を心配する気持ちに似ていました。しかし今や世界的心配事。一日も早い収束を祈るばかりです。(も)

中国へ支援物資・応援メッセージを贈る

山川異域 風月同天を合い言葉に

新型コロナウイルスの感染拡大が大きな社会問題になってきている。日本でもこの対策に全員が心を一つに、友愛の理念をもって取り組まなければならぬ。

中国では、湖北省武漢市を中心に重大な状況を呈していた。湖北省は、友愛の植林活動でも、長江のほとりを中心に最大の規模を実施した縁の地である。

(公財)友愛は、(一財)東アジア共同体研究所、(一社)日中一带一路促進協会と協力して、中国武漢市を中心に医療器材と鳩山由紀夫理事長のビデオメッセージ

最新ニュースで全世界の新型コロナウイルスの感染者が二〇〇〇人近くに上り、死亡者も四〇〇人を超えたと言われています。また、日本でも二〇〇人の感染者を数えています。既に対岸の火事ではありません。日中をはじめ各国でウイルスの分離に成功したもののニュースも流れていきます。一日も早くワクチンの開発をはじめ、終息に向かうことを祈っています。(註:二月五日現在の情報による)

二〇一一年日本を襲った東日本大震災の際に、中国から多くのご支援を頂いたことを、我々は決して忘れてはいません。今、中国では医療用物資が欠乏しており、現場の医療スタッフが十分な衛生環境が整っていない、とても心配しております。私どもも、引き続き、各方面への支援を呼びかけ、対応させて頂いておられます。何分、日本国内でも、物資の調達が困難になっている昨今、如何にお役に立てるか、対応を協議しております。

先日日本から、中国に届けられた物資に、この「中国加油」(頑張れ中国)の文字を入れ、この支援活動を伝えるポスターも作成した(写真右)

左のQRコードを読み込むと、鳩山由紀夫理事長のビデオメッセージを視聴することが出来ます。スマートフォン用友愛HPにアクセスします

山川異域、風月同天(別の場所に暮らしていても、自然を通して繋がっているの意。唐代、鑑真和尚が、日本の皇族(長屋王)から贈られた袈裟に刺繍されたこの言葉に感銘を受け、日本行きを決意したと言われる)

この言葉を、武漢、湖北省、中国全土で危機に直面し、立ち向かっている、すべての中国の友、そして運命共同体たる人類に贈ります。あなた方は、一人ではない。私達も、ともに向かい、闘って行くのだと。

これから、何が出来るか、何をなすべきか、識者や現地に詳しい方のご意見を聞きながら、私なりの支援を考えて参りますので、皆さまも、是非、情報をお寄せください。引き続きご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

鳩山由紀夫

2020年度 会費納入のお願い

同封の振り込み用紙をご利用ください

公益財団法人友愛は、皆さまからの会費(寄付)を公益事業に活用させていただいております。これからも友愛理念のもと、有意義な公益活動を続けるためにも、皆さまのご協力をお願い申し上げます。公益財団法人友愛の活動については、HPに写真と共に詳しく掲載されています。是非こちらもご覧ください。

